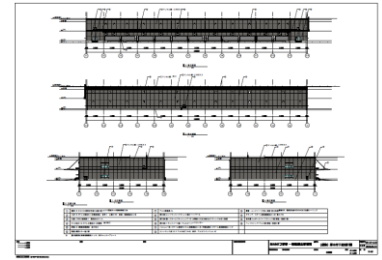


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市下依知計画	階数	地上2F
建設地	厚木市下依知字中河原710他	構造	RC造
用途地域	地域指定なし、防火指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2019年6月 竣工	評価の実施日	2019年5月20日
敷地面積	17,532㎡	作成者	榊フジタ
建築面積	9,382㎡	確認日	
延床面積	17,741㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
緑化率25%を確保し、敷地内の環境を向上させると共に、周辺環境にも配慮した配置計画とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 ゆとりのある階高設定。	Q3 室外環境(敷地内) 中高木を中心とした植栽をすることにより、日陰を確保し、気温の上昇を抑制している。
LR1 エネルギー 建築物における高効率なエネルギー利用設備の導入を図る。 LED照明設備	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用。	LR3 敷地外環境 駐輪場・駐車場・荷捌きエリアの適切な配置と量を確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される